

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2405 第8回例会 2015. 8. 27 晴

点 鐘：千葉一利 会長
進 行：栗原典子 副SAA
ソング：我らの生業

会長挨拶

千葉一利 会長



皆さん今日は。最初にお知らせです。本日ガバナー補佐の神子恒様が我がクラブを訪問される予定でしたが、都合により来られなくなりました。その空いた時間は、副会長の榎本さんが卓話をします。

青年弁護士ポール・ハリスがアメリカシカゴでロータリーを作ったのは、20世紀の初頭です。アメリカ大陸の発見からその頃までをロータリーの生まれた背景として、大雑把ですが話してみたいと思います。

アメリカ大陸の発見は、ご存知コロンブスです。イタリアの探検家で、スペインの女王の援助で大西洋を印度に向け航海し、サンサルバドル島に上陸しました。彼は、これを印度の西に届いたと思いを

したのです。(西印度諸島という)1492年の事です。

キューバ、ハイチを探検しさらに3回にわたって南米、中米を探検しました。これがアメリカ大陸の発見です。この発見は、15世紀から17世紀前半にかけて、ポルトガル、スペインなどヨーロッパ諸国が、航海、探検に出掛けた大航海時代の1つの成果でしょう。そしてその後の18世紀半ばごろからの産業革命により、急に増えた生産物を販売することに、各国は力を入れ市場・植民地の確保に激しい競争となります。

アメリカの開発は、最初移民の入った東部から進みます。そしてさらに新天地、資源を求めて西に進み19世紀の半ば頃、太平洋岸に達します。西に向かった理由は、外にも考えられます。

その一つは、産業革命により物の生産が急増し、東洋に市場を求めて、イギリスと激しい競争をしていました。品物を一刻も早く東洋へもって行くのに、西部の開発は必要だったのです。メキシコと戦い、カリフォルニアを手に入れ、横断鉄道を作りました。そして対抗したのです。

また、産業の機械化(動力化)により、夜間仕事をできるようになり、照明用の油が必要となり、その最適なものが鯨の油でした。その鯨は、北太平洋において北洋漁業が盛んになりました。これも西に向かった理由の一つです。

こうしてアメリカは、開発されていきます。このように産業の発展で大活躍した人達は、やはり商人で

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



しょう。その商人達は、当然、正しい商業道德の必要性を感じていたことでしょう。そこにロータリーの存在価値があり、今日のこの発展に繋がったものと思います。

幹事報告

高橋裕之 幹事



1. 9月のロータリーレートは、1ドル=124円
2. ソウル国際大会の案内(回覧)
3. 袖ヶ浦RCより活動計画書・会報(回覧)
4. 西大和田在住の藤倉氏が『続・上総地方の言葉』を出版しました。
5. 山田会員が所属する、重城病院の施設『いわね潮の香苑』の開所式で、富津中央バンドが演奏します。9/19(土)です。

委員会報告

RYLA実行委員会報告

若鍋武良 ライラ実行委員



先日ライラの第1回実行委員会が開かれましたので、その報告をします。ライラについてその誕生の経緯と今年度のライラセミナーについてです。
◇RYLAの誕生 1959年オーストラリアのクイーンズランド州が自治権獲得100周年の式典に、イギリ

ス女王の名代として、アレキサンドラ王女が派遣された時、ホストロータリークラブのプリズベーンRCが王女と同世代の青年をこの式典に招待して参加させ、王女に合わせるプログラムを作成しました。

これらの青少年の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行うことを決め、各クラブから2名の青少年をプリズベーンに招待し、文化、社会、教育のプログラムに参加させることに決めました。これがRYLAの誕生です。

日本でも1976年にスタートし、当2790地区(千葉県全域)では、1978年11月に第1回セミナーが開かれ、今年度は第39回目を迎えます。毎年約100名の参加者(16歳～30歳の青少年とロータリアン)、及び30名弱の主催者側とで、秋に1泊2日のセミナーが開催されます。

◇今年度第39回RYLAセミナーの概要

日時:平成27年11月14日～15日の1泊2日

場所:船橋市立一宮少年自然の家

テーマ:信頼『チームワーク』概要:ロータリアンと青少年が1泊2日の間、寝食を共にし、共に思索し、共に討議し、談笑しながら心のふれあいを通して、青少年は知恵とリーダーシップを身につけ、ロータリアンは自分自身を高める修練の場。

目的:①地域や企業のリーダーとしての青少年を育成する。

②国際ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心をもっていることを明らかにする。

③青少年による青少年への指導を奨励する。

④地域社会に尽くしている青少年を公に表彰する。
参加希望の青少年がおりましたらお知らせ下さい。



会員増強セミナー報告

石渡 鋼 委員長



去る22日、ホテルオークラ千葉で行われた上記セミナーについて報告いたします。櫻木英一郎ガバナー(千葉RC)、当該地区委員長北原俊彦(千葉南RC)

山田修平PG(木更津南RC)等の出席のもとにおこなわれました。

地区(2790)では去年目標2790名達成に勢いづいたか、今年は3000名を目標の掲げ各クラブに頑張ってもらいたいとのこと。

そして具体的には

1. 各クラブに今年限りの、「特別会員増強委員会」を設置してほしい。(当クラブには当委員会に優れたメンバーが居りますので此の儘頑張ってもらえます。因にメンバーは原田・榎本・永島・鈴木・栗原・大網の皆さん)
2. 会員増強カードの積極的提出をお願いしたい。(用意してありますので是非)
3. 職業分類を活用し未充填の項目を埋めてください。(当クラブではそれよりも、人物本位、分類は後から。)
4. 女性会員を増やしてください。(20%)(努力したい。)
5. 退会防止については、同好会等を通じて親しい間柄を推進されたい。(ごもつとも)

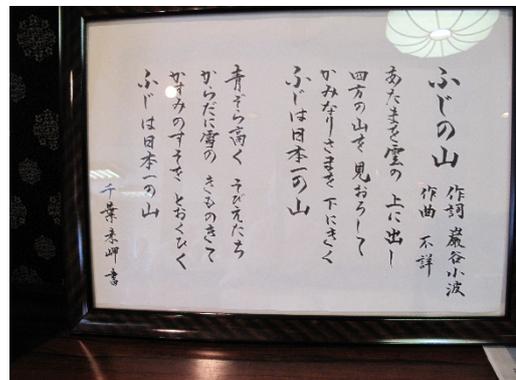
当クラブとしては30名の大台に至るべく、3名純増ということで手形を切ってきましたので、皆さんよろしくご協力のほど、お願いいたします。

ふじの山(作品)紹介

刈込八束 会員



刈込会員より、千葉会長のお孫さん(千葉美岬さん)による、富士山を謳った書が紹介されました。



小学生の頃の作品だそうです。立派なものです。

友人の書籍のご案内

白石幸久 会員



皆さん今日は、PRさせていただきます。富津市西大和田在住で、友人の藤倉富二夫さんが、「続・上総地方の言葉」を出版されました。

最初に出版した「上総地方の言葉」は、15年くらい前のことだと思います。彼は、吉野小学校、大貫中学校、木更津高等学校から、法政大学に進み、現在千葉県庁に勤務しております。上総地方の方

言について、解釈された辞典でもあります。会員の皆様、一読して頂ければ幸いです。

卓話

親日台湾と反日韓国

榎本守男 会員



本日は、神子ガバナー補佐が所用の為欠席となりましたので急遽卓話をさせて戴きます。いわばガバナー補佐の補佐をさせていただきます。年度当初、千葉会長から予定変更の時は、代役の卓話を頼むと言われていましたので心の準備は出来ました。しかし話題はまだ準備してなく持ち時間との絡みで、その時は行き当たりばったりでやろうと決めていました。今日の持ち時間は約20分位なので頑張って役目を務めます。上手く纏まらない時はご容赦願います。

最近読んだ本に「台湾人から見た 日本と韓国病んでいるのはどっち？」があります。

著者は、李 久惟 1975年高雄生まれで東京外語大卒、台湾新幹線プロジェクトに従事された方です。著者が何度も韓国に足を運ぶうちに、台湾と同様、同時代に日本統治という似たような経験を辿ったにも関わらず、反日感情の強い韓国と親日感情の強い台湾に分かれたのはどうしてなのかという探究心がこの本を書く動機になったそうです。

第1章には、大ヒットした韓国の反日映画と大ヒットした台湾の親日映画の対比が書かれています。韓国映画は「鳴梁～渦巻く海」1000万人の観客動員を記録した反日映画です。豊臣秀吉の「文禄慶長の役」における戦闘の一つ「鳴梁海戦」の内容のリメイクで「たった12隻で330隻の大軍を迎え撃ち、韓国側が大勝利した歴史に残る海戦」のよう

ですが史実が意図的に歪曲されているようです。結果として、このような映画を製作し韓国が反日意識を煽り続けることが、日本の嫌韓を増やす要因となっていると述べられています。

一方、台湾の大ヒットした映画は、「KANO1931 海を越えた甲子園」です。富津中央ロータリークラブの姉妹クラブは嘉義南ロータリークラブで嘉義市にあります。1931年、嘉義農林学校の野球部の実話に基づいた奇跡のストーリーです。当クラブでも、石渡、若鍋、原田3会員は嘉義市の映画館で嘉義南クラブの方と一緒に観賞されています。又、多くの会員の皆さんも映画、DVD等で観賞されています。日本人、台湾渡来人 台湾原住民が一つの目標に向かって奮闘する姿が感動的です。涙腺が弱くなっているのを感じさせてくれる映画です。

これまで1勝もしてなかった弱小野球部が赴任してきた日本人監督に率いられ台湾での予選を勝ち抜き、甲子園で決勝戦に勝ち進み優勝の夢が果たせなかったけれどそれ以上の喜びと希望を見つけ、その絆をつなぐ感動的なストーリーです。

クライマックスは、甲子園の最終回、カーブの連投で指のママがつぶれ、ストライクが入らず、それでも最後まで気力だけで投げ続ける闘志と責任感、野手が奇跡的なプレーで傷ついた投手を援護する姿、選手を信頼し見守る監督、甲子園の観客の全員がそして、ラジオの前の台湾人、日本人の全員が嘉義農林(KANO)を「カノー」と声を合わせて応援をするシーンは特に涙が溢れてきて止まりません。まだ見てない方は是非ご覧ください。こんな映画を見ると日本人と台湾人は、将来にわたって更に相互信頼を深められると確信できます。文化交流とは、こういうところから始まる事ではないでしょうか。映画監督には、素晴らしい作品「謝謝」と申し上げたいと思います。

次の比較として、台湾の烏山頭ダムと朝鮮の水豊ダムの例を取り上げてあります。

富津中央クラブで2年前烏山頭ダムに桜の苗木を植えるプロジェクトに参加し訪問しました。ダム湖畔には台湾農業の父と呼ばれ尊敬されている八田興一技師の銅像がありその偉業が、台湾の人たちに

讃えられています。当時の東洋一大きさを誇る巨大ダム烏山頭ダムを造られた技師です。台湾最大の平原、嘉南平野に地球半周に相当する1万9000 Kmの灌漑給水路、排水路が張り巡らされました。苦難の連続での完成でした。これにより、干ばつ、洪水、塩害のすべてが解決したそうです。不毛の台地が豊かな穀倉地帯に生まれ変わり、今でも台湾の「水」を支えています。台湾の人は「飲水思源」という言葉を大切にしている、常に感謝の気持ちを持たれています。「水を飲む者は、その源を思う」という意味で根本的な水の問題を解決してくれた日本人に感謝しその功績を末永く伝えていきます。

嘉義クラブの皆さんとの会話の中に烏山頭ダム、八田興一技師の話は頻繁に出てきます。私達も、嘉義訪問の折、記念館に行き1920年から10年間にわたる建設の苦難の歴史を知ると共に大きな障害を乗り越えて完成させた水利事業の壮大さを目の当たりにしました。感謝し感謝されることの循環を強く感じました。

一方朝鮮では、水豊ダムを同時期に日本が莫大な費用をつぎ込んで建設しました。電力の出力は当時世界第2位の多目的ダムとの事です。それが朝鮮を近代国家に変えていったことは動かない事実です。朝鮮や台湾のように水問題がある場所に来た日本がしたことは「水」の整備であったようです。過去の日本の罪の部分だけを誇張し咎めるだけでなく、その功績により恩恵を受けている人が評価し好意を示し、次の代に伝える事が責任ではないかと著されています。まさに台湾における「飲水思源」の言葉を思い起こしました。

朝鮮にも八田興一技師と同じように農業に尽くしたひとがいます。「朝鮮の八田興一」と呼ばれる存在で重松マサナオ師です。卵から鶏を育て、卵を産ませることを繰り返して鶏を増やし、卵を売り貯金をさせようと有精卵を農家に配布したのです。それを元手に次は牛を飼い、やがて土地を買うシステムです。このように近代農業を朝鮮半島に根付かせたのです。おかげで20年間でコメの生産量は2倍になり、餓死者はいなくなり農民の収入も飛躍的に増えたのです。当時の日本は台湾も朝

鮮も区別なくあらゆる産業の近代化に尽くしていたのが解かります。著者は、今の時代を生きる人は、苦勞もいとわず尽力した日本の先人や地元の先人に感謝すべきだと述べられています。

最後に、同じ境遇にあった台湾人と韓国人もそして日本人も個人差もあり決して一つの見方で固まってはいません。同じ親から生まれた兄弟でさえ考え方に大きな隔たりがあります。その差を埋める物は真実を直視出来る知識と寛容さです。この本を読んで、私たちが今こうして在る事への感謝の気持ちを持つことが必要だと感じました。

纏まりませんが、急遽の卓話ご清聴ありがとうございました。

ニコニコ BOX

渡辺哲夫 親睦担当委員



白石幸久 友人の藤倉富二夫君が、「続・上総地方の言葉」を出版したので、回覧させていただきます。

千葉一利 孫の書いたものが紹介されて、そして、突然の卓話を榎本会員にお願いして。

榎本守男 卓話をさせて頂いて

合計 3,000円



ガラスアート「ランドスケープ」佐藤信泰

出席報告

志波 克 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	26/24	20	4	0	83.33%
前回	26/24	19	5	1	83.33%
前々回	26/25	22	3	0	88.00%

総会員数 : 27名 - 休会1名 = 26名

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会 18:00)
火	富津(月末 18:30 10~3月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 18:00)
木	上総、木更津

君津 RC	ホテル千成	0439-52-8511
袖ヶ浦 RC	レストラン菜心味袖ヶ浦店	0438-60-1753
富津 RC	宮島	0439-67-0965
木更津東 RC	ロイヤルビズ木更津ビューホテル	0438-23-0211
富津シティ RC	新日鐵住金富津クラブ	0439-80-2525
上総 RC	割烹旅館 山徳	0439-27-2003
木更津 RC	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

出席優秀者紙上表彰

管理運営委員会 委員長 榎本守男

8月期100%出席者

原田 雅式	平野 安照	金子 光晴
刈込 八束	須藤 隆	鈴木 勉
高橋 裕之	若鍋 武良	渡辺 哲夫
山下 厚	千葉 一利	榎本 守男
石渡 鋼	小野 恒靖	大網庄一郎
志波 克	白石 幸久	高島 治雄

8月の皆出席者は以上の18名です。7月に較べて19%程増加しました。

現在、通算100%出席者が13名、80%以上の方が17名です。そして今後の出席状況により、全員が80%以上になる可能性があります。

出席を楽しみ、出席担当部会を喜ばせましょう。

編集後記

会報担当も、今回で終了です。今月は例会が3回と少なかったのですが、その為か、会員の皆さん少ない例会に、発言することが多く、先週に引き続き6ページの充実した会報となりました。

会報担当 高橋裕之



近郷の梨(豊水)新着